県立延岡病院遠隔読影業務仕様書

1 遠隔読影システムに関すること

①	読影依頼用の端末を備え、また通信に必要な機器を備えること。
②	日本国内の放射線科専門医による読影結果が得られること。
③	当院の診療時間内（月曜日から金曜日は8時30分から17時15分、土曜日は8時30分から12時30分）の読影依頼が可能であること。月曜日から木曜日の依頼については、翌日17時00分までにレポートの返却を行うこと。
④	検査日翌日（休日をはさむ場合は翌診療日）に読影結果が得られること。
⑤	365日24時間の読影が不可である場合は、読影可能な時間及びレポート返却可能時間を提示すること。
⑥	緊急検査の読影に対応できること。
⑦	当院の希望する読影依頼のモダリティはCT（Aiを含む）、MR、RI、MGであるので、これらに対応可能であること。
⑧	別紙にて各モダリティの想定依頼件数を示すので、これらにかかる読影料金を提示すること。その際は、検査1件あたりの単価を示すこととし、従量制ではないこと。
⑨	撮影、読影に関する質問等には随時対応できること。また、読影報告書の内容について、再読影を希望する場合は無償で対応すること。
⑩	フレッツ光ネクスト等の専用回線に対応できること。
⑪	通信に関してはセキュリティが確保できること。
⑫	業務上必要な項目が別途確認された場合は、業務に支障をきたさないように対処すること。
⑬	システム運用に関して、使用者が容易に操作できること。
⑭	読影時に過去の検査画像が参照できること。
⑮	読影医とのコミュニケーション機能があること（電話対応でも可）。
⑯	診療放射線技師が在籍しており、撮影に関する問い合わせが可能であること。
⑰	放射線科専門医による2次読影まで行うこと。

2 遠隔読影連携機能に関すること

①	院内のビューア端末の患者リストから任意の検査を選択し、遠隔読影連携用画像送信端末にDICOM Storageを実施できること。
②	読影結果及びキー画像をPDF等の汎用ファイルに出力できること。
③	読影結果及びキー画像を参照でき、且つ紙出力を行うことができること。
④	読影結果の検索、参照が容易にできること。
⑤	検査内容や読影結果について、読影センターとコミュニケーションを図れる仕組みを備えていること。
⑥	緊急読影を要する際に、読影センターに通知する仕組みを備えていること。
⑦	当院のPACS及びレポートシステムは、フジフィルムメディカル社製Synapseであるため、読影結果をこのレポートシステムへ自動インポートすることで院内配信できる仕組みが構築できること。また、その費用を提示すること。
⑧	検査依頼及び診断結果受信は、現行運用を踏襲すること。

3 開発および支援体制に関すること

①	システム設計、プログラム製造からシステム総合テストまでの作業、病院職員への操作研修、本稼働前のリハーサル、本稼働立ち合い、安定稼働までのシステム支援等、すべてに対応すること。
②	システム運用に関して、使用者に取扱説明を行うこと。なお、人事異動などで使用者が変わった際には新たに取扱い説明を行うこと。
③	システムのハードウェア・ソフトウェアは契約時以降に新製品が開発された場合でも最新の状態で導入すること。

4 職員研修計画

①	職員研修を行う専任者を1人以上確保すること。また、その専任者の指示により研修マニュアルの作成、研修及び操作方法不明時の問い合わせ対応等を行うことができる者を確保し、円滑な研修が実施できる体制を確立すること。
②	放射線技師の教育支援や教育プログラムを有すること。

5 基本的な安全管理要件

①	システムへのログイン時にはユーザー認証を行うこと。
②	個人情報保護体制及び情報セキュリティ体制を構築しており、プライバシーマークの認定を受けていること。

6 保守・管理に関すること

①	当院の診療時間内の連絡体制（コールセンター等）が整っていること。
②	当院までの移動時間が2時間以内の場所に保守拠点を有すること。システムに障害が発生した場合は、連絡後4時間以内に対応できること。
③	システム障害対応は24時間以内に対応できる環境があること。
④	納入検査確認後1年間は保証期間として、通常の使用による故障の無償修理や保守点検等に対応すること。また、次年度からの保守契約の提案をすること。なお、価格が基本料金に含まれない場合は別に提示すること。
⑤	定期的に保守点検を行うこと。
⑥	リモートメンテナンスによる保守業務を行えること。
⑦	定期的リモートメンテナンスによるシステム監視を行い、その内容を当院に報告できること。また、障害が予測される場合は迅速に対応すること。
⑧	保守契約期間のシステムアップデートは保守契約に含まれること。
⑨	システム改修等の作業を行うときには、事前に方策・影響範囲などを提示した資料を提出し、説明後にこれを実施すること。
⑩	消耗品を除くすべての機器を保守対象とすること。ハードウェアも保守内容に準ずること。また、該当する機器を示す資料を提示すること。
⑪	障害時に使用者が行うべき操作マニュアルを作成し、十分に教育すること。
⑫	システムのウイルスなどに対するセキュリティの提案を行うこと。セキュリティのソフトの維持管理が必要な場合は保守契約に含めること。

7 工事費用に関すること

①	リモートメンテナンスの接続・構築費用が発生する場合は納入価格と別に提示すること。
②	その他必要なインフラ整備に関しても納入価格とは別に提示すること。

8 搬入・設置・テスト等システム構築に関すること。

①	機器の搬入、現地調整等の作業を行うこと。作業は当院の診療業務に支障を来さないよう、当院職員と協議の上その指示に従うこと。
②	PACSとの接続費用を含むこと。